



佐貫ゼミナール

八戸マテリアル・アプローチ

～こども、あそぶ、あーと～



課題①

社会のグローバル化が進み、日本でも 21 世紀スキルやアクティフ・ラーニングについての議論が盛んになってきている。幼稚園、学校教育の中でも、自主的な学びが求められ、イノベーションを起こせる人材の育成は喫緊な課題である。

課題②

必要な「表現力やコミュニケーション能力」
「探究心」「考える力」を養うためには、
幼児期に遊びを通じて能動的な学びが重要。

課題③

「連携」「連帯」も欠かせないものであり地域の市民が、子どもたちの教育のために協力し合うシステムが必要。

解決策

「共同で」何かを実行することが子どもたちに学びとして伝わり、協調性や社会性の発達にも繋がるのではないだろうか。

研究

八戸圏域の隠れた資源を探し出し、子どもの創作活動の材料として活用する。

目的

文化芸術活動による魅力発信に繋げることで、子ども感性や可能性を最大限に引き出し、アートを通じた創造的な表現の一助となることを目的とする。

方法①

八戸圏域の様々な企業（店舗や工場）から、
廃材となった資源をもらい受け子どもたちの創
作活動の材料として活用する。

方法②

専門的な視点と技術を持ち合わせたアーティストを招聘し活動の幅を広げる。

方法③

記録を活かした「ドキュメンテーション」のアーカイヴを作成。地域の方に見える形で提示することで、より広いコミュニケーションが生まれる仕組みを作る。

【ワークショップ】

計12種類、19回開催、約400名の子どもが参加。

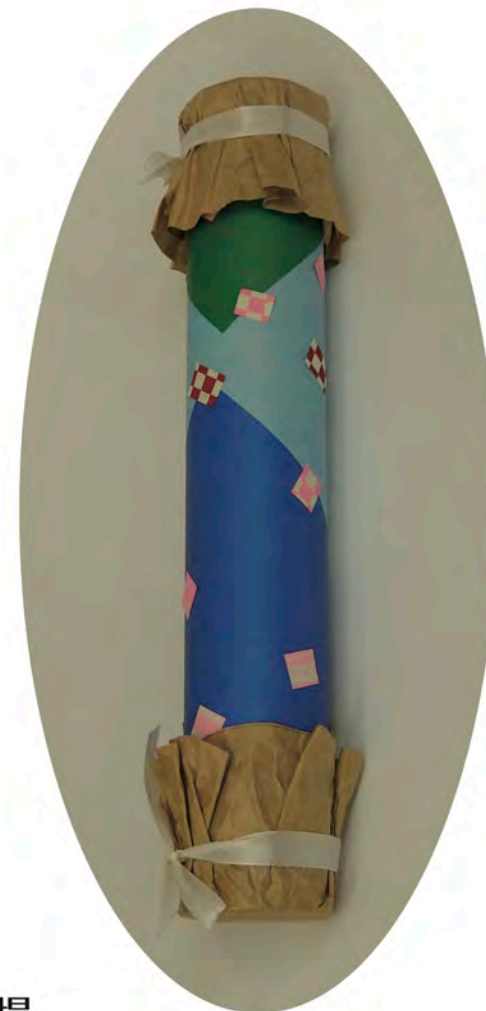
<開催場所>

八戸総合卸センター、吹上アートスタジオ、南部町健康センター、
南部町 あかね幼稚園、おいらせ町 百石幼稚園、
十和田市民交流フラザトワーレ、ポータルミュージアムはっち、
キャッセン大船渡、青森県立美術館 コミュニティギャラリー

①【雨音をつくろう♪紙筒でレインスティック☆】

紙筒を使って、アフリカが起源の民族楽器レインスティックを作ります。

柔らかな雨の音で癒されてみませんか？



協力：三菱製紙株式会社八戸工場

②【氷と水を使った造形あそび☆】

カラフルな絵具と塩を使って透明な氷を溶かします。穴をあけたり、削ったり！氷が見せてくれる表情は無限大！？



③【しろ☆シロ☆shiro☆いろんな白に触れてみよう♪】

いろいろな白い素材をパネルに貼っていき「モノの白」と「色彩の白」について探求しながら作品をつくります☆



④【へんてこヒーロー仮面！？米袋でファッションショー！？】

米袋にいろいろな素材を貼り付けたり絵を描いてオリジナルの衣装を作ります☆



⑤【なが〜〜〜い紙にゆめをつづろう☆】

三菱製紙さんから頂いた「なが〜〜〜いロール紙」に、それぞれの夢を描きます☆



協力：三菱製紙株式会社八戸工場

⑥【ありがとうの形～気持ちをアートにしよう～】

スチレンボードでカラフルなメダル、ペットボトルや廃材でありがとうのトロフィーを作って、感謝の気持ちを形にします。



⑦【木っ端を使って♪つみきでアート☆】

いろいろな形や大きさの木の切れ端を使って「つみき」をつくります。



⑧【おひとりさまテントを作ろう☆】

いつ何がおこるかわからないから...

新聞紙やチラシなどの身近な紙素材で、自分だけのテントをつくろう。



⑨【紙すきではがきを作ろう☆】

牛乳パックを使い、手すき紙はがきをつくります。大切なあの人へどんな言葉を送りますか？



⑩【サランラップを研究、魔法の川を作ろう☆】

透明、キラキラのサランラップで遊びを考えよう。包んで挟んで、包まって、身近な素材で遊びつくそう。



⑪【百石幼稚園の化石をつくろう☆】

園庭を散策し、採取した葉っぱや木の実などを使ってセメントで出来た化石をつくります☆



⑫【文字から出てくる本のムシ☆】

捨てられてしまう古書を使って、文字から出てくる形を描いたり！切ったり！折ったり！
読むだけじゃない本のいろいろな形を楽しもう♪



青森県保育者養成大学3校による造形作品展示&ワークショップ
ひとりひとり かがやく 子どもの創造力

おめめとおてて展 in こどもはっち

～おめめちゃんとおててくんの
ごんぼホリデー～



「サララップを研究、 魔法の川を作ろう」

透明、キラキラのサララップで遊びを
考えよう。包んで挟んで、包まって、身近
な素材で遊びつくそう。

講師：立崎博則
(青森中央短期大学幼児保育学科)
場所：はっちひろば
時間：10時～11時
対象：3～10歳くらい
参加費：500円 要予約

定員
15名
要予約

「～おひとりさまテントを作ろう～」

いつがおこるかわからないから・・・
新聞紙やチラシなどの身近な紙素材で、自分だけ
のテントをつくろう。

講師：木戸永二
(青森明の星短期大学子ども福祉未来学科)
場所：はっちひろば
時間：11時～12時
対象：3～10歳くらい
参加費：500円 要予約

定員
15名
要予約

シンポジウム 「あそぶ、こども、あーと ～創造力を引き出す教育～」

定員
50名
無料

司会・進行 佐真巧 (八戸学院大学短期大学部幼児保育学科)
パネリスト 立崎博則 (青森中央短期大学幼児保育学科)
木戸永二 (青森明の星短期大学子ども福祉未来学科)
吉田恵美 (青森中央短期大学非常勤講師 百石幼稚園副園長)

場所：はっちひろば 時間：14時30分～16時 無料

企画展「保育者養成大学の美術教員3人による
作品展&授業の紹介」

- *「付属第一幼稚園と幼児保育学科1年生の作品展」
(立崎博則：青森中央短期大学幼児保育学科)
- *「授業紹介&作品展」
(木戸永二：青森明の星短期大学子ども福祉未来学科)
- *「八戸マテリアル・アプローチ」の活動記録&作品展」
(佐真巧：八戸学院大学短期大学部幼児保育学科)

場所：ギャラリー1(はっち1F)ギャラリー2(はっち2F)
時間：9時～17時 無料

「しろ☆シロ☆shiro☆ いろんな白で基地づくり」

いろんな白い素材を使って「モノ
の白」と「色彩の白」を探求しな
がら、みんなで基地をつくろう。

定員
15名
要予約

講師：佐真巧
(八戸学院大学短期大学部幼児保育学科)
場所：はっちひろば
時間：13時～14時
対象：3～10歳くらい
参加費：500円 要予約

お申込み予約はお電話で！
こどもはっち

0178-22-5822

(第2火曜日を除く 9:30～16:30)

八戸市三日町11-1

ポータルミュージアムはっち4Fこどもはっち

2018年10月7日(日)

はっちひろば・ギャラリー1・ギャラリー2

主催：おめめとおてて展実行委員会・こどもはっち
参加大学：八戸学院大学短期大学部・青森中央短期大学・青森明の星短期大学
助成：学生まちづくり助成金制度

ひよひよひよ

かがやく
子どもの創造力！

ごんぼ
ホリデー



おめめと おてて展

in あまもり

青森県保育者養成大学3校による
造形作品展示&ワークショップ

2018.11.17(土)～18(日) 10:00～17:00 入場無料

会場 青森県立美術館 コミュニティギャラリー

主催 おめめとおてて展実行委員会

参加大学 青森中央短期大学、青森明の星短期大学、八戸学院大学短期大学部

後援 青森県教育委員会、青森市教育委員会、青森市産官学連携プラットフォーム、東奥日報文化財団

助成 八戸市学生まちづくり助成金制度

まとめ

*ワークショップは大変好評であり、企業の子どもが参加者の中にいたり親子を繋ぐ効果も見えた。

*多くの企業に理解してもらえよう、活動の周知が出来るよう「展覧会」や「ドキュメンテーション」にも力を入れたい。

アートを通して地域と関わることで、協調性や創造性・表現力など保育者として必要な力を楽しみながら学ぶことができた。



☆ご清聴ありがとうございました☆